

目標達成計画

事業所名 グループホームしらかば

作成日：平成 31 年 4 月 26 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	26	【チームでつくる介護計画とモニタリング】 介護計画の意義や見直しまでの一連の流れについて知り、職員も参加していくことが望まれます。自立につながる支援を行っていても、計画に位置付けがない場合もありました。アセスメントやモニタリングの時期、方法を明確化し、利用者や家族の要望を反映した介護計画を作成し、日々の介護を実施していくことが期待されます。	利用者やご家族の要望を取り入れた介護計画書を作成し、情報共有する。	モニタリングを月一回行い、職員間での情報共有する。 ケアプラン変更時にアセスメントを行い、利用者やご家族の意見要望を取り入れサービス向上に活かす。	一年
2	35	【災害対策】 利用者の安全確保のため、年二回以上の訓練を実施し、訓練には職員全員が参加できるように配慮してください。また、避難訓練だけではなく、職員の呼集訓練や原子力災害などの想定を取り入れ、非常時の備えとして行うことが望まれます。	災害時の訓練を実施する。	年二回非常時を想定した訓練を行う。またその時参加できなかった職員も次回の訓練に参加できるように計画を立てる。	一年
3	4	【運営推進会議を活かした取り組み】 運営推進会議への家族の参加が望まれます。議事録を家族に送付するなど、参加に向けた努力をするとともに、遠方に住んでいる家族等が運営推進会議に出席できない場合でも、意見や要望を反映できるように努めてください。	運営推進会議を有効に使いご家族の意見も取り入れることができる。	運営推進会議の議事録をご家族に送り、ご家族の意見を聞けるようにする。	一年
4	6	【身体拘束をしないケアの実践】 身体拘束廃止に向けた指針を作成してください。指針の中に、事業所として身体拘束の対象となる具体的な行為を定め、職員で共有することが望まれます。身体拘束廃止に向けた、外部・内部での研修の実施に努めてください。	定期的な勉強会を開き、職員のスキルアップを図る。	指針を作成する。 DVDを使用した内部研修や、外部研修があれば参加する。	一年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。